

エコが千代田の自慢です!



# CES 通信

Vol.9 2022 AUT

## これからのCESの 主な活動をご紹介します。

千代田のエコを推進しよう!



### CESエコフェア2022

#### お待たせしました。3年ぶりに対面開催蹴決定!!

環境活動の成果をわかりやすく楽しくお届けしてくれる区内の大学（法政大学・共立女子大学・大妻女子大学ほか）の有志グループやさまざまなボランティア活動を行っている団体（ひつじの会ほか）が数多く参加出展予定です。

当日は、楽しいワークショップや景品付きクイズ・子供服の交換会・ご家庭で眠っている食品（消費期限内）と非常食との交換会など、盛りだくさんの企画をご用意して、みなさまのご来場をお待ちしております。

日時：12月17日（土） 10:00～15:00  
会場：千代田区役所1Fホール〈入場無料〉

詳細は、区報の12月5日発行号をご覧ください。



6月11日に対面開催の「ちよだ環境まつり」の様子

### 環境学習・教育関連事業

#### カードゲームを使ったESD教材の作成・配布

千代田区の環境政策や施策の歴史～現状を踏まえた課題をまとめ、子どもたちが環境問題や社会問題を自分の問題として捉え、地域社会との積極的な関わりを持つとする意識を育むESD教材を作成・各学校へ配布します。

小学生と中学生を対象に、更には高校生や将来的には大学生や社会人にも有用な数種類の体験型カードゲームを作成します。年内に区内小・中学校、児童館などで出前授業を行い、小学生・中学生の皆さんへのモデリング（観察学習）によって反応・学習効果を検証します。

10月9日には、城西国際大学の「絵本ワールド」に本

ゲームを携え参加し、来場の子どもたちにゲームを体験してもらい、配布に向けてのより明確な改善点の確認ができました。

今後、配布先の児童・生徒が皆で楽しくゲームで遊びながら各々が問題意識を共有し、自発的に次のアクションを起こす動機付けとなることを目指します。



#### 《環境配慮宣言事業》区内事業所さんへの応援活動です。

今年も、新型コロナウイルス感染症予防対策並びにレジ袋の有料化対応などで頑張っている区内事業所さんに、「環境配慮宣言」を行っていただき、エコバッグ

をお送りする応援活動を行います。毎年、多くの事業所さんに参加いただいています。今年も、リサイクル不織布を使用したエコなバッグです。お楽しみに。

#### 「環境配慮宣言事業」参加事業所

2×3スリーレック、桔梗屋電機（株）、オギムラ薬局、ゴンドラ、宝来屋、トニーローマ、巨牛荘、TeahouseTAKANO、天ぶらはちまき、文銭堂、ミヤタ文具、プラットホームサービス、しまゆし、玉川堂、寿々木、よねはく、淡平、朝日電機商事、神田丸屋、リズム靴店、DiningBar Lamplight、出世不動通り商店街、カーサノヴァショップ、佐々木商事、千寿、旭軒、珈琲専門店エース、昭和薬品（株）、からだ工房、神田木花、香文堂、磯見酒店、The Rose&Crown 神田店、ベンガル、さくらホテル&カフェ神保町、PAPA'S パリパリチキン、中国料理 源来酒家、新世界菜館、Bowl House（順不同）



写真はイメージです▲

## クラスⅢ推進事業《CESの活動周知強化への新体制》

千代田エコシステムの環境マネジメントを推進するEMS事業部門では、クラスⅢ推進部会が、区内の「事業所を対象とした事業の企画、立案及び、実施並びに評価、検証等を行う」ことを目的として協議・活動をしています。今期は、従来の監査偏重を脱し、「千代田エコシステム」を多くの方に知っていただく活動にシフトを変える予定です。「2050ゼロカーボンちよだ」の実現、SDGsの目標の明確化と達成に向かって、区内事業者やその関係者の方たちとの協働体制づくりをめざします。イベント情報や活動のアイデア提供を歓迎します。詳細は、千代田エコシステム推進協議会

EMS事業担当まで、お問い合わせください。

一方、千代田区独自の環境マネジメントシステムであるCESを導入・活動している事業所への監査業務においては、監査員チームに有資格者を増員し、新体制で取り組んでいます。7月～8月に、令和4年の千代田区本庁舎・庁舎外施設・教育施設、78か所でのCES監査を実施しました。千代田区では、活動マニュアルと活動報告書の刷新があり、これまで部署ごとに行ってきた認証を、区全体で一本化することになります。それに対応すべく、来年度の監査に向かっての体制づくりを始めました。

## 環境講演会・自然エネルギー利用施設見学会・シンポジウムの開催

2018年度にスタートした「CES環境講演会」は、初年度に〈パリ協定と第5次エネルギー基本計画とは〉というテーマで当時の環境大臣中川雅治氏、当時資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長としてご活躍中の松山泰浩氏に、そして翌年には〈SDGs推進のエンジンであるESDを学ぶ〉というテーマで当時、立教大学教授・ESD研究所長の阿部治先生にご登壇いただきました。

その後、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの配信となり現在にいたっています。オンラインの講演会としては、自然電力の小売り業界から幹部社員を招き、自然電力の小売り業界の発展過程と昨今の世界情



CES環境講演会  
中川環境大臣(当時)の講演

勢の変化を受けた電力価格高騰による業界の混乱状況、そして、そこから脱した後に期待される発展の可能性についての講演依頼を、昨年来、継続しております。



自然エネルギー利用施設見学会  
前田建設工業(株)「ICI総合センター」

また現在、日本で最初に「自然エネルギー100%大学」を実現した千葉商科大学学長・原科幸彦先生への講演依頼を企画しております。

なお、温暖化対策を体現した施設へのCES主催の見学会として、木造の中高層ビルの建設事例への訪問を考慮しております。会員の皆さん、そのような施設をご存じでしたら、是非、事務局までご一報ください。よろしくお願いいたします。

## CES環境活動普及助成制度事業《助成範囲対象の拡大》

地球温暖化防止やSDGsの環境分野の推進を目的とした、千代田区内で個人および団体が行う環境への意識向上のための集まり、学習会、講習会、講座、イベント、体験学習などの活動に対して行う助成制度です。

活動に係る助成は1団体1件とし、申請年度内における所要経費が50,000円以上の事業で当協議会で審査・承認したのに対し、所要経費の7割(100,000円上限)助成します。

昨年度までは、CO<sub>2</sub>削減のための活動と範囲を限定していましたが、SDGsへの関心の高さから対象範囲にSDGsの環境分野の推進のための活動も含め、拡大しました。

申請期間は、原則8月20日～8月31日で先着順ですが、今年度は予算に余裕があるので年内に事業が終了する活動は相談により対象となることがあります。

環境に興味があり、何か行動を起こしたいが経費の面で躊躇している方は、お気軽にご相談ください。

## 令和4年度定時総会および理事会の報告

### 7月22日(金)よりCES新体制が活動スタート

7月12日(火)に開催した定時総会で2年ごとの役員改選が行われ、その後の理事会にて、理事長と副理事長をはじめ2名の監事と1名の理事が新たに選任され就任の承諾が行われました。また各事業を担当し中心になって企画運営を行う業務執行理事も決まり、11名の理事による新体制のCES活動がスタートしました。

今後の主な活動としては、●クラスⅢ推進事業●再開発ビル等の自然エネルギー施設見学・シンポジウム・講演会の開催事業●環境学習・教育関連事業●環境配慮宣言事業●環境活動普及助成制度事業などを予定しています。

千代田区の環境保護のため、これまで以上に区民の方々と共に活動を広げてまいりますのでよろしくお願いいたします。

#### 新理事長挨拶

理事長 **渡辺 達朗**  
(専修大学 商学部 教授)

2022年7月、新たに理事長に就任させていただきました。コロナ禍のもとで本協議会の活動も大幅に制約されてきましたが、本年度は、感染対策に十分配慮しながら、対面でのイベントを含めて、活動をあらためて活発化させつつあります。

千代田区は、2021年11月5日「千代田区気候非常事態宣言」を表明するとともに、地球温暖化防止のため、2050年までに、区内のCO<sub>2</sub>(二酸化炭素) 排出量実質ゼロを目指す「2050ゼロカーボンちよだ」を掲げています。



#### 「2050ゼロカーボンちよだ」への貢献

本協議会は、こうした区の活動と連携、協力しながら、区独自の環境配慮行動の指針(環境マネジメントシステム)である「千代田エコシステム」(CES)について、区内在住の皆さんや、事業者の皆さん、区内に通勤・通学されている方々等を対象に、普及・啓発活動を行ったり、環境配慮行動を呼びかけたりする活動を行なっています。

また、CESに基づいて、区のほぼ全部署における環境保全活動や環境配慮行動の実際について監査・認証するとともに、民間企業等の監査・認証を行なっています。

こうした活動を積極的に展開し、多くの皆さんと環境配慮行動を楽しく実践していくことによって、千代田区におけるゼロカーボンに少しでも貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 新副理事長挨拶

副理事長 **高山 肇**  
(千代田区商店街連合会会長)

神保町で長く古書店を営んでいます。地元生まれで錦華小学校卒業の母親からの申し送りでは、明治8年福岡の久留米で創業、明治30年代に父親、兄弟で神保町に移り住み、以来120年余り商売をさせていただいています。

現在、古書組合神田支部の古書店は、130店ほどで、駿河台下には東京と全国の古書店の本部機能があり



#### 千代田区から新しい環境モデルを発信

ます。古書の売買がさかんになったのは、明治期になってからですが、江戸はリサイクル都市と言われ、いろいろなものが古物として流通していました。その流れとあいまって明治期の大学の創立とともに古書の流通がさかんになったようです。

今ではネットで中古品にプレミアムがついていますが、古書の流通は長い歴史と共に組織ができています。環境問題を考える時、持続可能なビジネスモデルを作ることが重要だと思います。これから皆さんと知恵を出し合って、千代田区から環境の新しいモデルを発信していきましょう。

#### 令和4(2022)～ 令和5(2023)年度 新役員ご紹介



監事  
**大矢 栄一**  
(千代田区会計管理者)



監事  
**津田 慎司**  
(千代田区連合町会長協議会会長)



理事  
**猿渡 裕司**  
(公益財団法人まちみらい千代田事務局長)

# 「カトー折り」を続けて、つながっていく「SDGs」の道

新折り紙・カトー折り研究所 加藤 祐一

6月11日(土)区役所区民ホールで実施の「ちよだ環境まつり」CESブースに「SDGsに繋がるね。カトー折り」で出展いたしました。多くの家族連れの来場者が遊びに来てくださり、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。今もその楽しさは忘れておりません。

「新聞紙が帽子になった」それを被ったお子さんが自慢げな顔をして、悠々と歩いていく後ろ姿を見ただけで、元気をいただきました。きっとスタッフの皆さんも、あつという間に元気いっぱいな時間が過ぎていったと思います。

紙を折っただけで、バッグや袋、箱、なんでもすぐに作れる「くっつけたい箇所がくっつく」折り方、これを

「カトー折り」と呼んでいて、古紙に出す前にエコや防災に役立てちゃおうというものです。

でも今回はさらにバージョンアップ!くっつけた箇所をセロテープでがっちり固定したのです。これが当たり前!しっかりした帽子、壊れない帽子、丈夫な帽子に進化しました。その帽子に好きな野球選手の写真がまたまあると、さらにお子さんが興奮する場面もありました。また新聞紙の帽子をかぶったお子さんの手を引いて駅に向かっていく親子を目撃したという情報もあって、あ、広がっているなあと実感した次第です。

カトー折り研究所: <https://blog.goo.ne.jp/kato911>



カトー折りは、「困ったとき」を起点にどうしたら解決するかを身近なもので解決する思考(不要な紙を再利用し役立つことを学ぶ)とその手法を学ぶことでSDGsに繋がります。

スマホをお持ちの方は、こちらからアクセスしてください▶



2022年6月11日(土)に区役所区民ホールで開催の「ちよだ環境まつり」出展のカトー折りの加藤さん。

## 2050年までに区内のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指す「2050ゼロカーボンちよだ」に向けて 今こそ『もったいない精神』江戸の暮らしに学び、循環型社会を考えましょう!!

持続可能な社会の実現には行政のみならず、私たち個々の意識・活動の変容も必要です。例えば身近な消費活動を、廃棄物のリデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の優先順位(3R)で廃棄物の削減を心掛けることはCO<sub>2</sub>排出抑制のために重要です。

また、限りある資源を効率的に利用し、リサイクルなどで循環させながら将来にわたって持続して使い続けていく「循環型社会」の形成にもつながります。

昨今、注目されているのが『もったいない精神』が育んだ江戸の人々の暮らしぶりです。江戸は人口100万人を超える当時世界一の都市であったので、町民の生活は限られた資源で営まねばならず、物資を使い捨てることは

とても「もったいない」ことでした。日本古来の『もったいない精神』に支えられ、世界的にも稀な「循環型社会」として発達していったのです。

着物のリユースやリサイクル、布や木材の焼却灰を農業用肥料、洗剤などへの有効活用。さらに、排泄物を捨てるのもやはり「もったいない」ことであり、下肥を有機肥料として使用するための売買が行われていました。

着物と灰、そして下肥を主要なリサイクル品目とし、他にもさまざまなリサイクル業が成立することで江戸のリサイクルシステムが機能していったのです。

みなさまも、この『もったいない精神』の江戸の暮らしを循環型社会形成へのヒントとして捉えてみてください。



Vol.9 2022 AUT

発行・編集: (一社)千代田エコシステム推進協議会

発行日: 2022年10月15日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所: 〒102-8688

千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階

電話: 03-5211-5085 FAX: 03-3221-3405

メール: [info@chiyoda-ces.jp](mailto:info@chiyoda-ces.jp)

URL: <https://chiyoda-ces.jp>

